

令和 5年度予算見積調書

課室名：生産振興課
 担当名：総務・野菜担当
 内線：4139

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P58	施設園芸パイオニア技術推進事業			一般会計	農林水産業費	農業費	園芸農産振興費	埼玉園芸生産力強化支援費		
事業期間	令和5年度～ 令和8年度	根拠法令	埼玉県農林水産業振興条例(第14条)			針路 分野施策	12 1202	儲かる農林業の推進 強みを生かした収益力のある農業の確立	SDGsゴール 9 SDGsターゲット 9-5	
1 事業概要	施設園芸農業の生産性向上のため、スマート機器等のさらなる普及拡大を図る。またグループ内での栽培データ活用による管理技術の高度化や省エネ化、温暖化に伴うハウスの昇温対策の実施、収穫調整作業の省力化等、新たな課題等に対応する機械等の整備、推進を図る。			5 事業説明 (1) 事業内容 ア スマート技術導入拡大支援事業 18,000千円(補助率1/2以内) (ア) スマート機器等新規整備導入支援 (イ) データ活用機器導入支援 イ 新課題等対応機器導入支援事業 9,000千円(補助率1/2以内) (イ) 昇温抑制設備、収穫調整機器等導入支援 ウ 普及推進事業 701千円 (ア) 技術の周知、検討会支援等 (イ) 新技術の実証支援 (2) 事業計画 ア スマート技術導入拡大支援事業 スマート技術のさらなる拡大支援、データ活用に必要な機械 イ 新課題等対応機器導入支援事業 新たな課題に対応する機械・施設の導入支援 ウ 普及推進事業 県機関によるスマート技術の産地への普及拡大、データ活用や新たな課題に対応する技術の生産者への指導 (3) 事業効果 事業実施により、以下の目的を実現する。 ア スマート機器や省力化機器類を活用した先進的施設園芸技術の拡大による生産体制の維持・強化 統合環境制御装置、炭酸ガス施用装置等の導入により収量10%向上 省力機器の導入により、対象作業を18%削減 イ データ活用による栽培管理の高度化と省エネ化 栽培データを共有することでグループ内の管理情報が可視化され、生産性向上や省エネが進む ウ 気象変動下での安定的な生産 昇温対策システムの活用でハウス温度を最大約7℃低下 エ 収穫調整作業の省力化						
2 事業主体及び負担区分	ア (県1/2)市0・事業主体1/2 イ (県1/2)市0・事業主体1/2 ウ (県10/10)									
3 地方財政措置の状況	なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×1.0人=9,500千円									
予算額		財源内訳							一般財源	前年との 対比
決定額	27,701								27,701	11,825
前年額	15,876								15,876	

事業内訳書

事業名	施設園芸パイオニア技術推進事業			
単位事業名	スマート技術導入拡大支援事業	予算額	18,000千円	

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	18,000	3,000	スマート農業機器新規導入支援、データ活用機器導入支援 補助率1/2以内
合計	18,000	3,000	

単位事業名	新課題等対応機器導入支援事業	予算額	9,000千円	
-------	----------------	-----	---------	--

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	9,000	9,000	新課題等対応機器導入支援 補助率1/2以内
合計	9,000	9,000	

単位事業名	普及推進事業	予算額	701千円	
-------	--------	-----	-------	--

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	109	△6	事業推進、実施に係る出張旅費、先進地事例調査出張旅費

単位事業名	普及推進事業	予算額	701千円
-------	--------	-----	-------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	306	△131	消耗品費、出張用公用車燃料費、指導資料印刷費
役務費	61	2	事業推進、実施に係る通信運搬費
使用料及び賃借料	25	0	会議室借り上げ料
負担金、補助及び交付金	200	0	実証負担金
合計	701	△135	